

港区西福田学区

震災避難行動マップ

わが家の津波避難先

津波避難ビル

地震が収まったあと、津波による危険から命を守るために滞在する施設

施設名称・マンション名	所在地	階層	収容人数
西福田小学校(北校舎棟)	西福田五丁目1601	3	660
西福田小学校(南校舎棟)	西福田五丁目1601	3	154
ストロベリーガーデン	畑中一丁目303	4	33
医療法人杏園会介護老人保健施設あんず	西福田一丁目636	5	235
特定養護老人ホーム希望の郷	新茶屋二丁目1501	4	500
第7近藤ビル	寺前町2	7	100
特別養護老人ホーム サービスネットワーク南陽	新茶屋一丁目1701	6	500
福田川河口排水機場	福前二丁目地内	3	1,150
作業所えがお	西福田二丁目504	3	95
特別養護老人ホーム第二希望の郷	新茶屋二丁目1506	4	200
蟹江川排水機場	海部郡蟹江町大字蟹江本町地先	3	950
老人保健施設ケア・サポート新茶屋	新茶屋三丁目901	4	1,040
老人保健施設かいこう	新茶屋三丁目915	4	843
医療法人開生会老人保健施設ラベンダー	中川区福島1丁目148	3	600

お住まいの行政区・学区以外の避難場所にも避難できます。

凡例

- 津波避難ビル
- 指定避難所
- 広域避難場所
- 地下式給水栓
- 水路
- 橋
- 学区界

指定避難所

災害が落ち着いた後、自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るための施設(公立小・中・一部の高校の体育館・コミュニティセンターなど)

施設名称	所在地	避難場所	収容人数
西福田小学校	西福田五丁目1601	体育館 視聴覚室 家庭科室 トワイライトプレイルーム クラブハウス	388
西福田コミュニティセンター	福屋二丁目103	会議室	100
南陽第三保育園	新茶屋五丁目2004	保育室 乳児室	113
茶屋後土地改良区事務所	新茶屋五丁目2602	大会議室	120
協和土地改良区事務所	六軒家1403	会議室	36

緊急避難 指定緊急避難場所

命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所

災害の種類	指定緊急避難場所	開設基準
洪水・内水氾濫	想定浸水深以上にある市立小・中学校など	「避難準備・高齢者等避難開始」発表
土砂災害	土砂災害警戒区域にない市立小・中学校など	
津波	津波避難ビル	伊勢・三河湾に大津波警報発表
地震の揺れ	・公立小・中・一部の高校などのグラウンド ・広域避難場所 ・一時避難場所	震度5強以上の地震
大規模な火事	広域避難場所	—

避難ルートを考える時のポイント

1.原則車は使わず、徒歩で避難しましょう。車での避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになります。



2.電柱・家屋・ブロック塀が倒壊し、道路が通れなくなる恐れがあります。道幅が狭く、住宅が密集した場所はなるべく避けて避難しましょう。



3.水路や橋は、いざという時に通行障害となる恐れがあるため、なるべく避けた避難ルートを考えましょう。



4.地震で堤防が壊れた場合、川の水が津波より先に流れてくる可能性があります。避難可能な近隣の施設を確認しておきましょう。



南海トラフ巨大地震発生時の対応

港区西福田学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。**自分の身を確実に守る**ため、日頃から**家具の転倒防止**などの耐震対策に努めましょう。
名古屋港には最短 96 分(※)で津波が到達し、その後最大 3.6m の津波がさかのぼります。津波が見えてからでは避難が間に合わないので、限られた時間を有効に使って津波避難ビルへ避難しましょう。

また、堤防の破損状況に気を配り、近隣の方同士で情報を共有しながら、出来る限り正確な情報を入手するようにしましょう。

(※)30cm の津波が到達する時間。30cm の津波でも、人は早い流れに巻き込まれて流される可能性があります

津波発生時の地域での声かけ・避難支援

隣近所など地域での「声かけ」と「避難支援」が大事な命を救います。
地震の揺れがおさまったあとは、**地域の皆さんで声かけ**をし、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。
また、日頃から一人で避難できない方（高齢者・障がいのある方など）を把握しておきましょう。

情報の入手や判断が難しい方
(例えばこんな方)
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など
(対応方法)
優しい言葉でゆっくり声かけ
メモや、身振り手振りで伝える

移動が難しい方
(例えばこんな方)
普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど
(対応方法)
複数で手伝う
身近にあるものを利用する

非常持出品を常備しましょう！
例)食料
飲料水
常備薬 など

地震が起きたらまずは身を守る行動



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

- 家族、隣近所への声かけ、安全・安否の確認、情報交換する
- 火元を消す・ブレーカーを落とす
- ガス・水道の元栓を閉める
- 扉を開けて出入口を確保する
- テレビやラジオ等で正しい情報を収集

地震発生

揺れがおさまった

津波避難ビルを目指して避難開始

津波警報解除
避難勧告解除

さいがい きけんかいしょう
災害の危険解消

じたく たいざい かのう
自宅での滞在が可能か

- 在宅避難
- ✕ 指定避難所等へ

- 身の安全を確保する
- 安全に消せる場合は火を消す
- 可能であれば、扉を開けて出口を確保する
- 倒れそうなタンスなどの家具、ガラス戸から離れる
- 机の下に隠れ、机の脚をつかみ、低い姿勢で身を守る
- 屋外にいる場合は、建物やブロック塀など、倒壊の危険がある場所からすぐ離れる

- 避難に適した靴を履いて外に出る
- 逃げ遅れないように早目に避難を始める
- デマに惑わされず、ラジオ、テレビ、広報車、スマートフォンなどで適宜、情報を確認する
- 持てる量の非常持出袋を持って行く
- 落下物など周囲に気をつける

夜に地震が起こった場合、暗闇の中を避難することになる恐れがあります。
懐中電灯を非常持出品として用意しておきましょう。



津波から安全に避難するための5つのポイント

①揺れがおさまったら高台へ、時間がなければ津波避難ビルへ避難！



②隣近所へ声をかけ、原則徒歩で避難！



③高齢者や障がいのある方などの避難支援を！



④引き返さない！安全確認が済むまで避難継続を！



⑤海岸や川沿いには絶対近づかない！

